

アの学生なども含めて22名
ほどで、「広島や長崎で犠
牲になつた人々は、死亡
者数合計21万人と數で表現
されることもあるけれど、
本当はその一人一人にかけ
がえのない人生があつた」
被爆2世の「語り部」か
らは最後に、「様々な場で
核兵器廃絶のために被爆の
実相を語り継いでいきたい
ので、お友だちや関係する
団体に呼びかけてみてくだ
さい」との訴えがありました。



白血病やがんが多発する
こととか自分も考えて
いかなければと思った」な
どの感想が寄せられました。
被爆2世の「語り部」か
らは、最後に、「様々な場で
核兵器廃絶のために被爆の
実相を語り継いでいきたい
ので、お友だちや関係する
団体に呼びかけてみてくだ
さい」との訴えがありました。

で、被爆後数年たつてから
かつた」、「ガザで起きて
いることとか自分も考えて
いかなければと思った」な
どの感想が寄せられました。
被爆2世の「語り部」か
らは最後に、「様々な場で
核兵器廃絶のために被爆の
実相を語り継いでいきたい
ので、お友だちや関係する
団体に呼びかけてみてくだ
さい」との訴えがありました。

これから社会保障を考える
高齢化、人口減少
そして「大軍拡」の流れの中で
社会保障のあり方について考える会 準備会 藤井明

も発展したのです。(うし
てもはや、大国の意向だけ
では歴史を動かすことの出
来ない時代を迎えるなかで、
地球環境の危機に対しても
1972年には核兵器禁止条約が採
択されるなど、前向きの変
化が生じました。近年、こ
の過程をたどりつつ大きく
めき合いながら、ジグザグ
の過程をたどりつつ大きく
進点を3つあげるとすれば、
それはまず第1に「植民地
体制の崩壊」であり、2つ
めは「民主主義と人権の發
展」であり、3点目は、「戦争の悲劇的体験をつう
じて、平和の国際機構が生
み出され、「戦争の違法化」
原則が確立された」ことだ
と思います。こうした構造
的変化が、不十分ながら
も世界的な力関係を変え、
国連の役割を活性化させ
ることになりました。それと
同時に、国連総会では大国
の無法な侵略が批判される
ようになりました。それと同様に、
世界の視点から、
「民主主義と人権の發展」
について、
社会発展に対する確信の上
に立つてこれを許さず、
振り戻しを画策する勢力を孤
立させていく国際的な運動
が求められています。(参考
文献: 勤労者通信大学
「基礎理論」ース 第7章)

20世紀と言う枠組みで
「社会保障」を考える ①
20世紀と言う枠組みで
「社会保障」について
考えてみたいと思います。

「20世紀は戦争の続いた時代、
アシズムや軍国主義の支配した時代、暗い悲劇的な時代」と言われることもありますが、その一方で、
人類が、戦争の悲劇や環境破壊などと必死になつてたたかつて来た世紀でもあります。即ち、人類史の最も重要な到達点の一つでした。今回から次回にかけては、そうした時代であつた「20世紀」と言う枠組みで、「社会保障」について考えてみたいと思います。

次回では、先ほど二つ目の前進点として取り上げた「民主主義と人権の發展」について、
社会発展に対する確信の上に立つてこれを許さず、
振り戻しを画策する勢力を孤立させていく国際的な運動が求められています。(参考文献: 勤労者通信大学
「基礎理論」ース 第7章)

教育行政キヤラバンで懇談

香川の教育をよくする県民会議



香川の教育をよくする県民会議は22日～28日までに県内11自治体の教育委員会を訪ねて、懇談する「教育行政キヤラバン」に取り組みました。

子どもたちの命と学習権の保障をめざし、△20人学級に向けた少人数学級の前進▽小中高の公立学校の教材費や給食費などの無償化▽給付型奨学金や修学援助制度の創設などを求めています。

初日は観音寺市と三豊市を訪問。三豊・観音寺市の高井和雄副会長は「教職員や保護者、市民の声を行政に届け、教育現場のプラットフォームを改善したい」とあいさつしました。

三豊市との懇談では参加者が「学校の統廃合が空調導入の優先順位付けの条件になつていているのはおかしい」「教育の機会均等や南海大地震を考慮し、子どもたちや地域住民の命と安全のため、工アコンを早期に整備してほしい」「教員不

要望書は、△物価高騰対策として水道光熱費や家賃などの固定費補助、原材料の一部補助の創設▽事業承認課が応対しました。

三豊市議団も参加し、産業振興課と国保高齢者医療課が発揮できるよう、大西市長にあて要望書と「実態調査アンケート（会員161名が回答）」を提出しました。

アンケートでは、□□ナ前より売上が減ったが約7割、市への要望は圧倒的に国保料の値下げです。参加者から「国保料が高過ぎる、値下げしてほしい」「中小業者が減っている実態を考え、市として支援や相談窓口を」「国保料の県統一が予定されており減免制度の充実を」などの意見が出されました。

足、教師志望数減少をどう解決するのか」などの意見や質問が出ました。

三豊市の市内小学校屋内運動場への空調設備導入計画（案）には「統合した（する予定の）小学校（市内7校）から空調設備を優

先的に導入する」と書かれています。

三豊市教育委員会の大原一仁教育長は「病休、育休、産休での教師の代替不足対策に、正規教育増員を国に今後も要望する」などと述べました。

「まれ」に発生する大災害に対して平時から備える重要性を説き、加えて「文明が進むほど天災による被害も増す」と、地理や気象条件を無視した街づくりに警鐘を鳴らした。タワーマンション建設や原発再稼働などいまの社会現象にも通じる。寅彦は「戦争は人間の力で避けられるが、天災は科学の力でも止められない。国家の天災に備える科学的国防の研究が重要」とした。当時寅彦の「次に起きた安政型の大地震は甚大な被害をもたらす」との持論は為政者に届かず、没後に太平洋戦争が始まった。戦時中に、東南海地震（1944年）が発生したが、軍の統制下で隠蔽された。戦後の南海地震（1946年）は高知県を中心に甚大な被害をもたらした。

寅彦の科学的精神は地震学に生かされ、学問は発展したが、気候危機を招いた人間社会や戦争や軍備に明け暮れる国家など文明は進歩したか。甚だ疑問である。(ち)

「天災は忘れた頃にやつてくる」とは、物理学者と隨筆家であった寺田寅彦（1878年～1935年）の名言で、その心は隨筆「天災と国防」（1934年）に記される。

寅彦は「戦争は人間の力で避けられるが、天災は科学の力でも止められない。国家の天災に備える科学的国防の研究が重要」とした。当時寅彦の「次に起きた安政型の大地震は甚大な被害をもたらす」との持論は為政者に届かず、没後に太平洋戦争が始まった。戦時中に、東南海地震（1944年）が発生したが、軍の統制下で隠蔽された。戦後の南海地震（1946年）は高知県を中心に甚大な被害をもたらした。

寅彦の科学的精神は地震学に生かされ、学問は発展したが、気候危機を招いた人間社会や戦争や軍備に明け暮れる国家など文明は進歩したか。甚だ疑問である。(ち)